

地域における学びを通じたステップアップ支援促進事業 愛知県の事例（2020年度～）

<取組の内容>

【実施体制の整備】

- 無料の学習支援・相談を行う「若者・外国人未来塾」と、支援機関とのネットワーク化を図る「若者未来応援協議会」の2つを柱として、県教育委員会生涯学習課が主体となり、県内9地域で支援を担うNPO等の委託団体及び関係機関と協働して実施体制を整備。

【学習相談・学習支援の実施】

- 図書館、青少年センター、若者サポートステーション等、県内9地域を会場として無料で学習相談・学習支援を実施。
- 各地域における関係機関・団体等の委員で構成される地域協議会を年2回開催することで、各地域の実情に応じた支援の実施。

【広報の取組】

- 中学校、県立高校において、中学卒業後進路未定者、高校中退者及び保護者に対して、事業リーフレットと事業の情報提供申込書を配布するよう依頼するとともに、HPやSNSの活用した広報を実施。
- 合同協議会を年2回開催することで、県の関係機関等への学習支援・就業支援事業の周知を実施。

<取組の成果>

- のべ2,600名以上が事業を利用し、実利用者のうち高等学校卒業程度認定試験、高等学校を受験した者及び就職活動を実施した6割以上が合格、就職を果たした。

<今後の取組>

- 義務教育終了後の社会的困難を抱える若者に対する支援の強化。
- 外国人移住者が多く、日本語指導が必要な外国籍の児童生徒数が多いことから、日本語学習支援の実施地域の拡大を目指すとともに、支援の手を伸ばすためのSNS等を積極的に活用した広報の強化を目指す。